

獣医畜産科の逍遙歌

1 . 花にかゝれるおぼろ月
玲瓏玉に光あり
仰げば涙たかぶりて
熱き血潮を胸にして
あゝ青春の一刻を

2 . 千歳の夢はうつろえど
清く変らぬ鬼怒川の
岸辺の霧を踏み行けば
筑波の山の雲はれて
今若人の胸広く
血潮は高く躍るかな

3 . 落日低く雲淡き
牧場に羊帰る時
高く聳えし男体の
岳の威霊に自ら
頭下ぐれば我が馬の
たてがみ高く秋風や

獣医畜産科の至誠歌

至誠のために死するてふ
主義を愛して死するてう
男児の意気は今も尚
岩に砕きて砕き得ず